
ひも

のみのみの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひも

【コード】

N2924I

【作者名】

のみのみの

【あらすじ】

学校帰りに見付けたひも。

「で、家に帰ってポストを開けてみたら、そこに毛ガニが入っていたわけよ」

「何で毛ガニ？」

「んつとな、後になって聞いたんだが、手紙と毛ガニを掛けたって言ってたぞ」

「ふくん」

学校帰り、いつもの道を通って高校の制服を着た男子二人が歩いている。

毛ガニの話をし終えた大柄は、腕を組んで伸びをした。

「そつちはなんか面白い話、ないのかよ」

「あるよ」

そう言った小柄は、ちょっと考える仕草をしてから話し始めた。

「たしか、先週の月曜日だったかな。部活があったから、多分その日だね。僕、一人で帰ったでしょ」

「そうだな」

「うん。それでね、駅から学校に行く途中に、白いひもが落ちていたんだ」

「ああ、あれか。俺も見たな」

「そっか。その日は新月で、空も晴れていたから、いつもなら星が一杯見れると思うんだけど、でも空は真っ黒だったんだ」

「それ、面白い話か？」

「ううん、怖い話。でも、実際にあったことだし、夢オチだから、そんなに怖くはないよ」

「……」

「で、その白いひもの横を通り過ぎた後、女の人とすれ違ったんだ。その直後にボタンっていう、人が倒れる音がしたから振り向いてみると、さっきすれ違った女の人倒れていたんだ。その首には白いひもが巻きついていて、気味が悪くなつたよ」

大柄は立ち止った。

「その日はすぐにそこから立ち去つたんだ。でも火曜日の放課後にもひもがあつてね。ちょうど向こうから男の人がやってきてたから、少し離れた所で見えていたんだ」

「……おい」

「そうしたら、ひもがひとりで動き出して、男の人の首を絞めて気絶させたんだ。その後しばらく見ていたら、急に男の人がひもに吸い込まれてね。完全に男の人が吸い込まれると、いつの間にかひもは消えていたんだ」

「おいって」

「ん？」

「あれ」

大柄が、小柄の足下を指差す。

そこには、白いひもがあつた。

「あ、そうそう、このひも……？」

白いひもが波打ち、そして一瞬で小柄の首に巻き付く。

小柄はすぐに意識を失つて倒れ、そしてしばらくするとひもに吸い込まれて、ひもと共に消え去つた。

「なんだ、なんなんだよ、今の」

大柄は今の現象を処理しきれないまま帰宅した。
そしてまた、これは夢となる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2924i/>

ひも

2010年10月21日20時45分発行